

**JUKI**

COMPUTER SEWING MACHINE

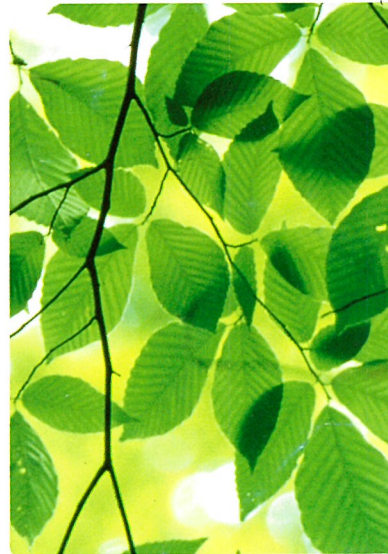
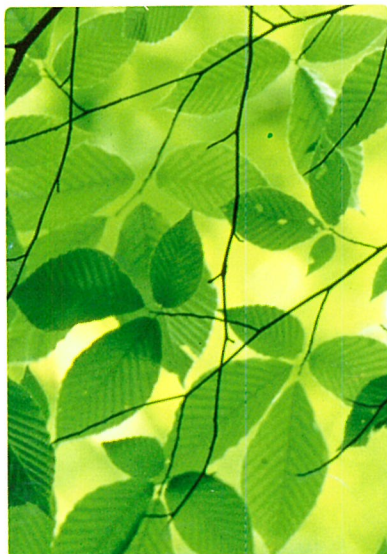
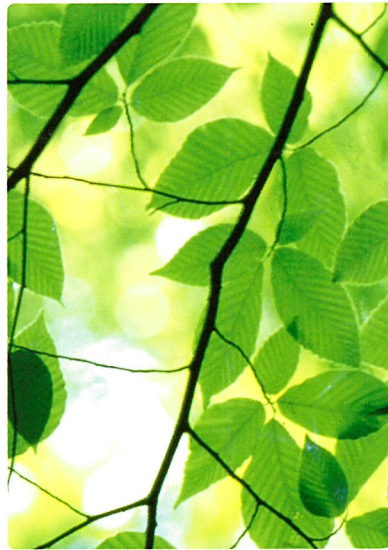
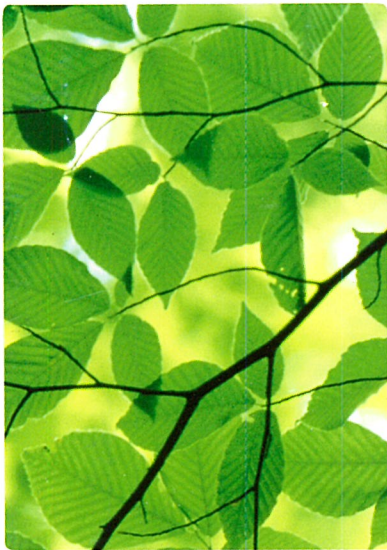
ニュー・アローネ

**new** ALLOWNE  
HZL-008N

# 取扱説明書

**注意**

安全にご使用していただくため、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書  
をお読みください。また、いつも  
ご覧になれますように保管ください。



お買い上げまことにありがとうございます。

このコンピューターの特長をご理解していただき、正しく安全にご使用していただくために  
どうぞこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

## 安全にご使用いただくために

このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことがらを必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY



この表示は  
禁止マークです。

<p><b>警告</b> このマークの表示は感電、火災の原因となりますから、特にご注意ください。</p>	6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押したりしないでください。
<p>1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。 2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。 ●ミシンのそばを離れるとき。 ●ミシンをご使用になったあと。 ●ミシンのご使用中に停電したとき。</p>	7. お子様はミシンをご使用になる ときや、お子様の近くでご使用 されるときは、特に安全に ご注意ください。
<p><b>注意</b> このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。</p>	8. 下記のことを行うときは、電源 スイッチを切ってください。 ●針、針板、押え、アタッチメントな どを交換するとき。 ●下糸、上糸をセットするとき。 ●刺しゅう枠の取り付け、取り外しの ときや刺しゅうカードを出し入れす るとき。 ●ランプを交換するとき。 (ランプが冷えてから行ってください) ●取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れ を行うとき。
<p>1. コントローラーの上に物をのせないでください。 (コントローラーは別売品です) 2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。 3. ミシンを操作するときはかま部などカバー類を閉じてください。 4. ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車(プーリー)、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。 5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。</p>	<p>9. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。</p> <p>10. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。 ●正常に作動しないとき。 ●落下などにより破損したとき。 ●水に濡れたとき。 ●電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。 ●異常な臭い、音がするとき。</p>

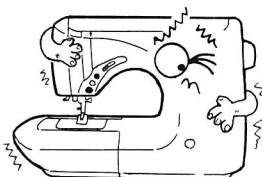
### その他のご注意

<p>直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。</p>	<p>シンナーなどの溶剤でふかないでください。</p> <p>●やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。</p>
---------------------------------------	--

- 5°C~40°Cの範囲でお使いください。

- 長時間のゆっくりぬいをつけると異常発熱を防ぐため、ミシンがとまるようになっています。

このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、右記の状態がおこる場合がありますからご注意ください。



- 温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。

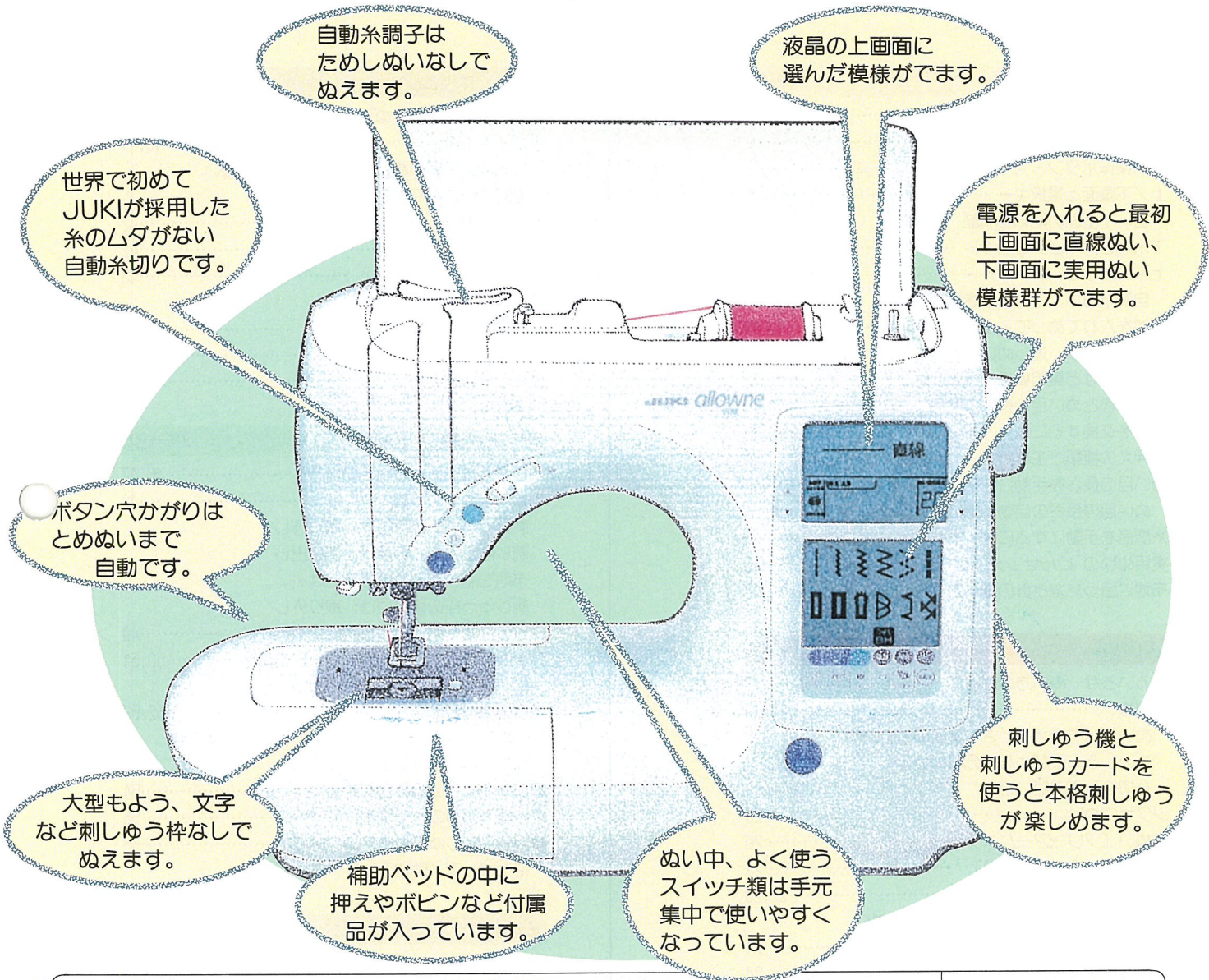


- 約20分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

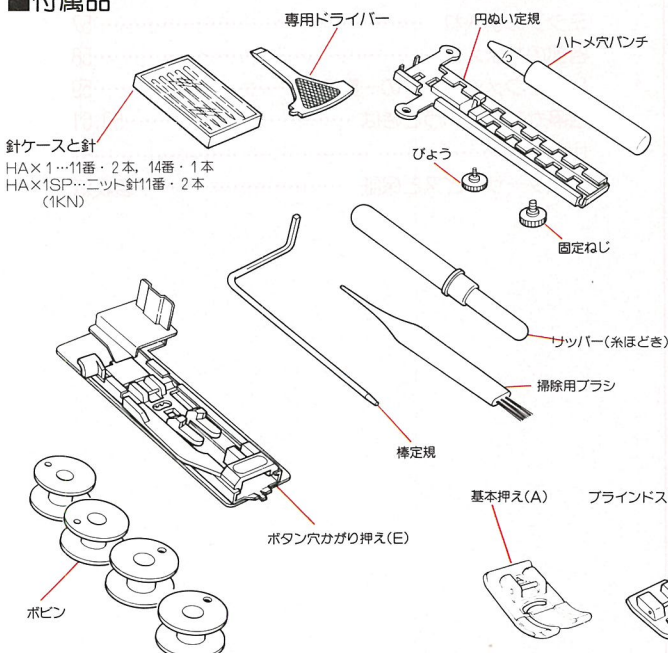


# new ALLOWNEのごしょうかい!

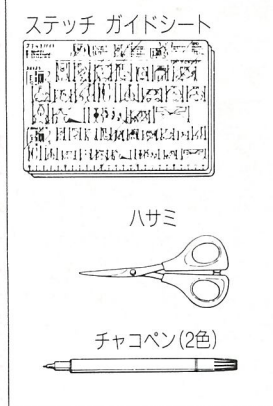
HZL-008N



## ■付属品



## カバーケース内の付属品



※付属品は補助ベッドの所定の位置にセットしてください。補助ベッドの出し入れができなくなることがあります。  
※基本押え(A)は最初マシン本体にとりつけられています。



基本操作	ページ
ミシンのご紹介	1
付属品	1
手元操作ボタン・スイッチ	3
上/下画面と選択キー	4, 5
上、下画面の明るさ調節	
下糸巻き/ボビンのセット	6, 7
上糸のかけ方	8, 9
自動糸通し、下糸の引きあげ方	
布地を入れてぬってみよう	10, 11
自動糸切り、返しぬい(ほつれ止め)	
ジグザグなど実用模様を選ぶには	12
振り幅とぬい目の長さの関係	
押えを交換するには	13
押えの種類と主な用途	
ぬい目の長さを手動にするには	14
ぬい目の長さの自動と調節できる範囲	
糸調節を手動にするには	15
実用ぬいの しんせつメッセージ	16
布地に合った糸と針の選び方	16

実用ぬい	ページ
いろいろなぬい方のガイド	17
直線ぬい	18, 19
ぬい方向を変えるとき、厚地のぬい始め	
ぬいしろの重なった部分のぬい方	
糸切りみぞの使い方	
ジグザグぬい	20
筒ぬい(フリーアーム)	20
裁ち目かがり(縁かがり)	21
自動ボタン穴かがり	22, 23
両かん止め穴かがり・ハトメ穴かがり	
パールぬい(自動ボタン穴かがり)	24
芯入りボタン穴かがり	24
しつけぬい	25
伸縮強化ぬい	25
ファスナーつけ	26, 27, 28
脇あきファスナーつけ	
つき合わせファスナーつけ	
小物づくりのファスナーつけ	
三点ジグザグ	28
まつりぬい(ブラインドステッチ)	29
伏せぬい	30
アップリケ	30
いせ込み・ギャザーの寄せ方	31
ピンタック	31
キルティング	32
パッチワーク	32
円ぬい(サークルステッチ)	33
横送り(四方ぬい)	33
スカラップ	34
アイレット	34
●別売押え・コントローラー	35, 36, 37
コンシール押え/手動BH押え/三つ巻き押え	
ひもつけ押え/上送りアタッチメント	

模様・文字ぬい	ページ
大型もよう/文字をぬうには	38, 39
大型もようぬい	40, 41
拡大ぬい、縮小ぬい、反転ぬい、2色ぬい	
連続ぬい、パターンぬい	
モニタージュぬい	42
ワンポイントぬい	42
文字ぬい	43
たてがきキー	
模様を組み合わせてぬうには	44
渡り糸の始末	45
模様の形の整え方	45

刺しゅうぬい EM-1	ページ
刺しゅうぬい(セットと使い方)	46, 47
刺しゅうぬいの準備	48
刺しゅう機の取り付け、取り外し	
刺しゅうカードの挿入と取り出し	
布地を刺しゅう枠に張るには	
刺しゅう枠の取り付け、取り外し	
模様の位置を刺しゅう枠内で決めるには	49
ひよっこりひょうたん島のカードの場合	50, 51
単色ぬい/多色ぬい/縮小ぬい	
文字のカードの場合	52, 53
アルファベット/ひらがな/カタカナ/漢字	
拡大・縮小・大文字/小文字	
刺しゅうぬいの組み合わせぬい	54
刺しゅうぬいのトラブル	55
●別売 刺しゅうカードのご紹介	56
花シリーズ/動物ランド	

その他	ページ
針の交換	57
ランプの交換	57
ミシンの手入れ	57
各部のなまえ	58
しんせつメッセージの一覧表	59
故障かな...というときは	60, 61
仕様表	61
アフターサービスと保証	裏表紙



# 手元操作ボタン・スイッチ

ぬい中、よく使う操作ボタン・スイッチは  
手元集中化されています…

## 糸切りボタン

ボタンを押すと上、下糸が自動的に切られ、針は上位置で止まります。  
\*その後、下糸が針板上に見えなくとも続けてぬうことができます。

## スピードコントロールつまみ

ぬい中でもスピード調節ができます。

## 返しぬいスイッチ

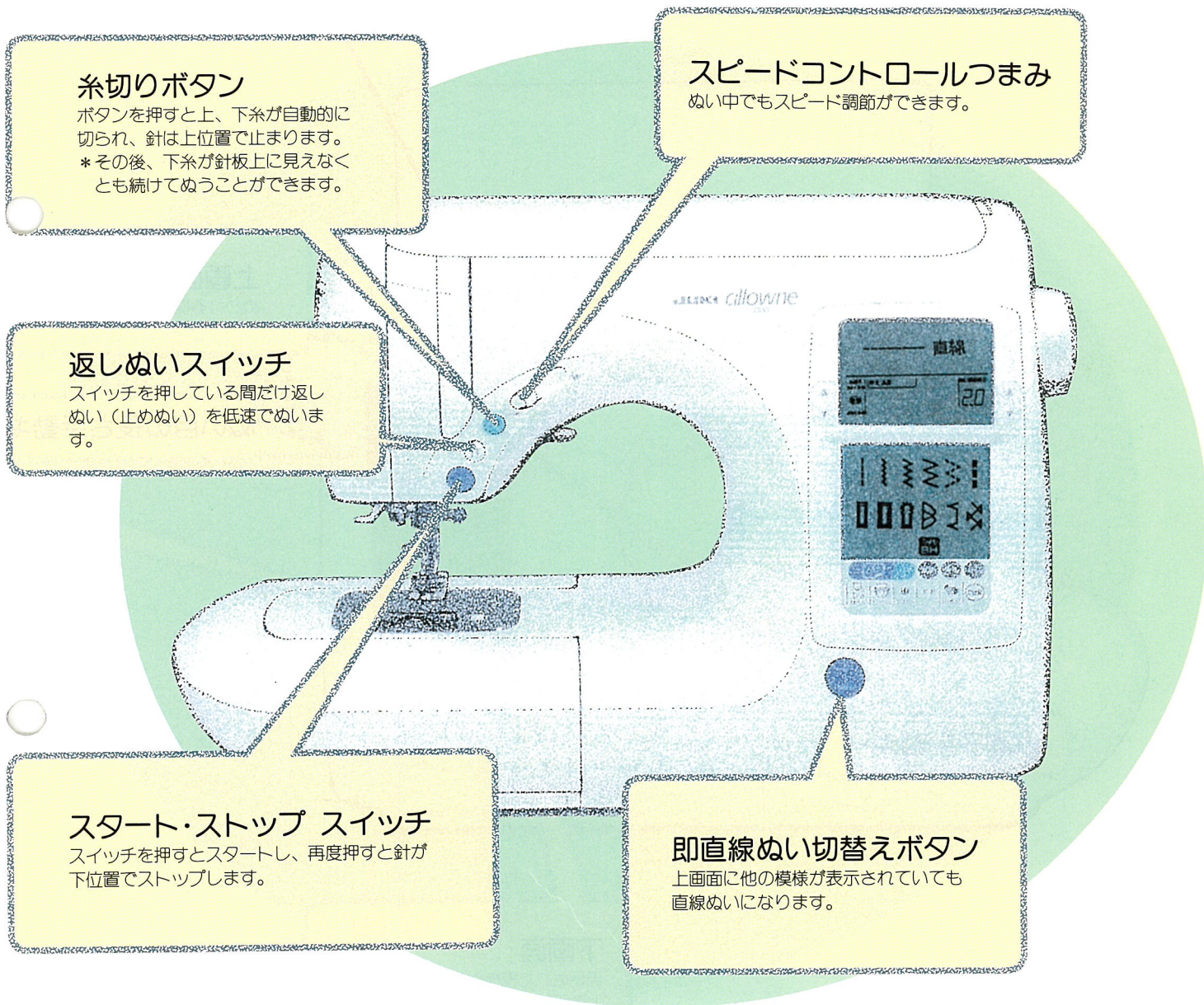
スイッチを押している間だけ返しぬい（止めぬい）を低速でぬいます。

## スタート・ストップ スイッチ

スイッチを押すとスタートし、再度押すと針が下位置でストップします。

## 即直線ぬい切替えボタン

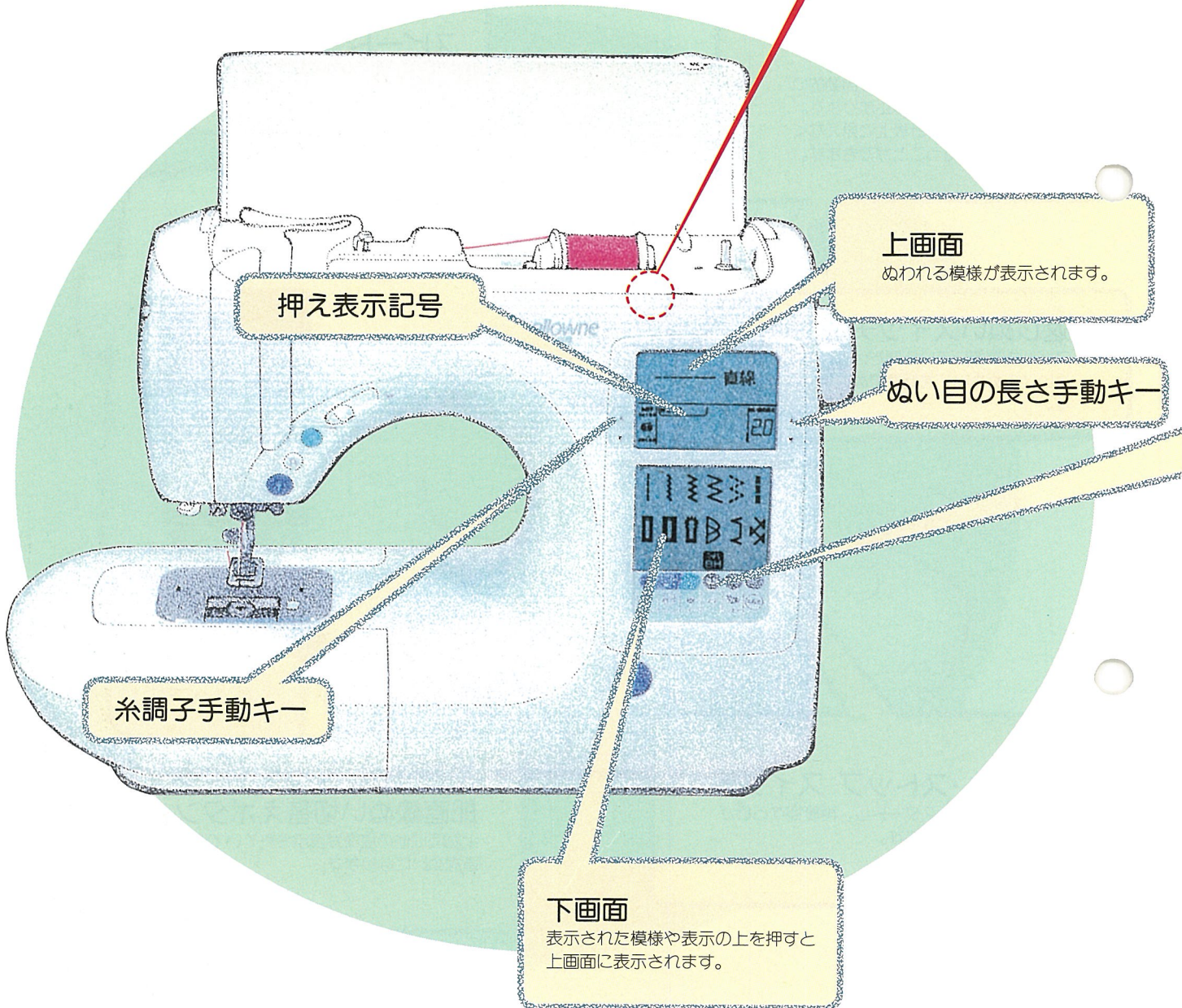
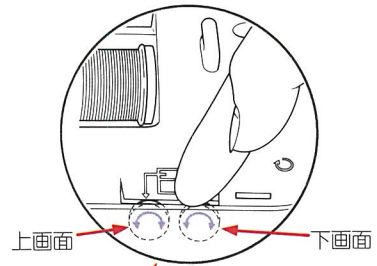
上画面に他の模様が表示されていても直線ぬいになります。





# 上/下画面と選択キー

上/下画面の明るさ調節ボリューム



押え表示記号

上画面

ぬわれる模様が表示されます。

ぬい目の長さ手動キー

糸調子手動キー

下画面

表示された模様や表示の上を押すと上画面に表示されます。



# 選択キーと下画面に表示される模様

## クリア キー

記憶した模様を最後から1つずつ消して行きます。数秒間、押し続けるとすべてを消すことができます。

## メモリ キー

選んだ模様を記憶させます。

## 確認 キー

記憶した模様の確認のために使います。

## 保存 キー

記憶した模様を保存します。電源を切っても保存されます。

## よひだし キー

保存された模様をよひだすキーです。

## 前画面 キー

下画面に表示された模様の前の画面をよひだします。

## カード刺しゅう キー

刺しゅう枠と刺しゅうカードを使用したときに使います。



大型もよう | ワンポイント | 文字 のキーは

押すごとに下記画面が順に表示されます。

大型もよう (3画面)

モニタージュ (1画面)

ワンポイント (2画面)

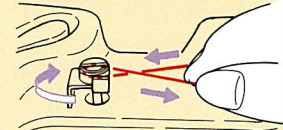
文字 (4画面)



# 下糸巻き／ボビンのセット

番号順に順序よくおこないます。

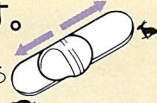
**3** 糸案内に  
かけます。



**5** スピードを  
調節します。

はやくなる

おそくなる

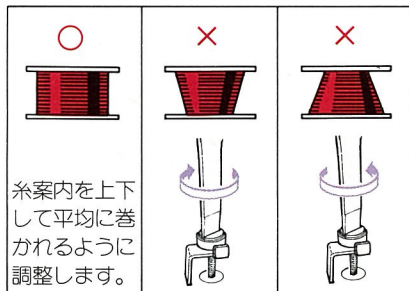


**6** スタートボタンを  
押します。

- 途中でとめたいときと、巻き終わったらもう一度ボタンを押します。

**7** ボビンを  
とり出し  
セットします。

## ●下糸巻き調整

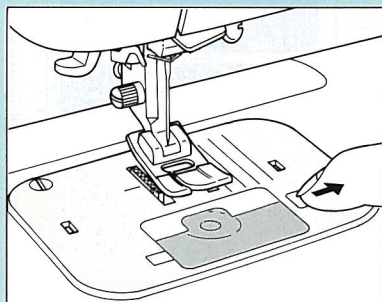


## ボビンの取り出し方

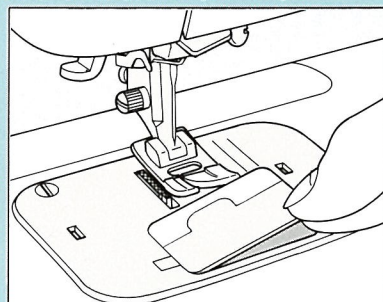
※このミシンのボビンはJUKI専用部品です。(HZL-30、50シリーズ共通です)

**⚠ 注意** ボビンを出し入れするときは電源スイッチを切ってください。

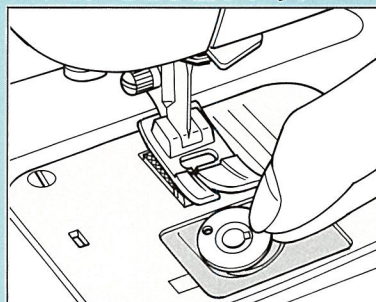
**1** ボタンを右側へ引きます。



**2** フタを取りはずします。

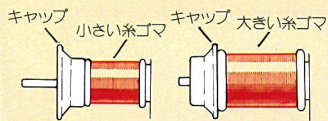


**3** ボビンをとり出します。



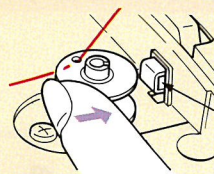


## 2 糸ゴマを入れ キャップを さし込みます。



糸ゴマの外周に応じてキャップの裏表をかえてとりつけます。

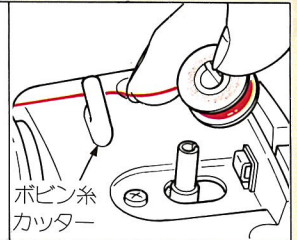
## 4 ボビンをセットします。



ボビンをさし込んだら糸巻調節へ押しつけます。糸巻調節

### 巻き終わったら

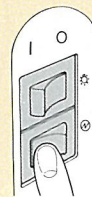
左側へもどします。



ボビン糸  
カッター

予備のボビンは補助バットの中に入っています。

## 1 コードを引き出し コンセントへさしこみ 電源を入れます。



ランプスイッチ

電源スイッチ

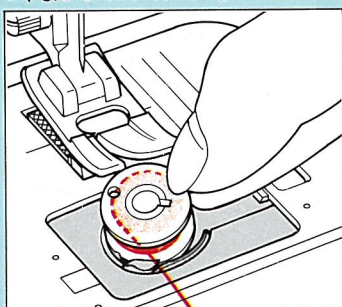
↑は入 (ON)  
○は切 (OFF)

## 8 ボビン (下糸) のセット



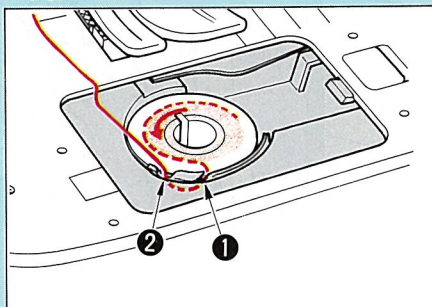
**注意** 下糸をセットするときは電源スイッチを切ってください。

### 1 内かまに入れます



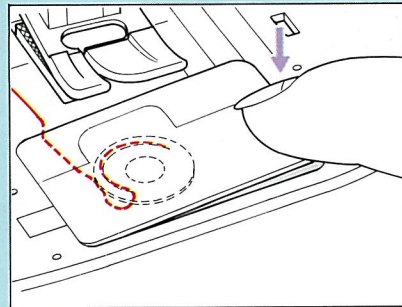
ボビンの糸の巻き方向を左巻きに!

### 2 内かまに糸をかけます



①に糸をかけ②のミソの上のせて、後ろへもって行きます。

### 3 かまカバーを閉じます





# 上糸のかけ方

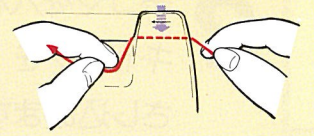
順序よくおこないます

## ▲ 注意

糸かけ、糸通しのときは電源スイッチを切ってください。

**3** 両手で奥まで押し込みます。

ベーステンション  
(糸検知糸案内)



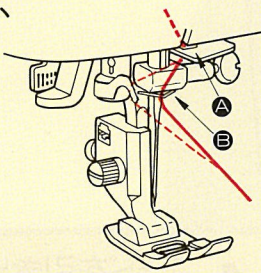
**4** 4、5、6、7は糸の先端をもち、矢印にそってかけます。

**5**

**7**

**6**

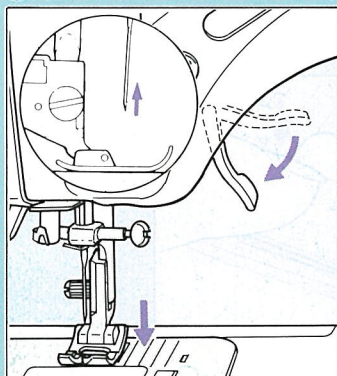
**8** AとBには、左側からかけます。



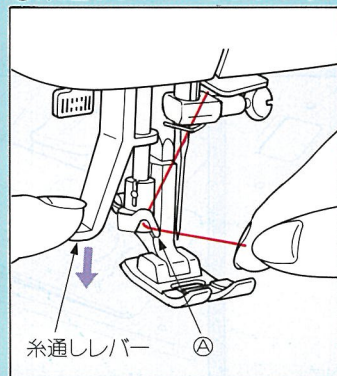
**1** 押え上げレバーをあげます。

# 9 針自動糸通し

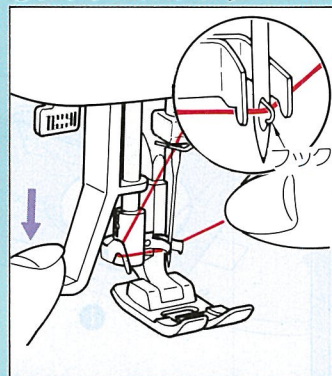
①押え上げレバーを下げます ②糸通しレバーを下げます ③フックにかかけます ④糸通しレバーをあげます



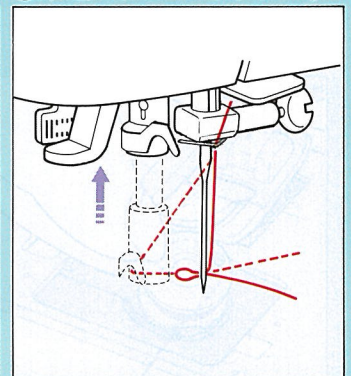
\* 針は一番上にあげます。



糸通しレバーを途中(重くなる直前)まで下げてAに糸をかけます。



さらに糸通しレバーを上げてフックに糸をかけます。



指をはなすとフックが糸をひっかけて針穴に通します。

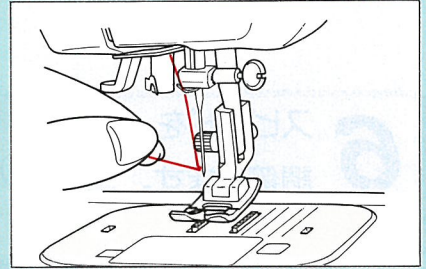


**2** はずみ車を手前に  
まわし、針を最上  
位置にします。

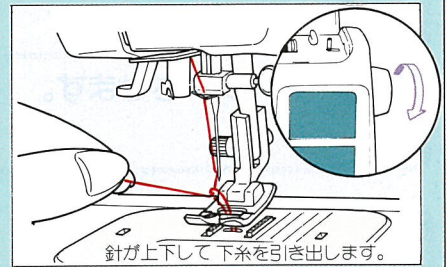
**下糸の引きあげ方**

まず押え上げレバーをあげてから

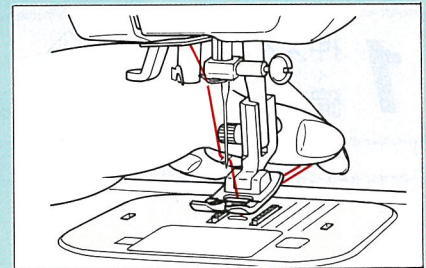
**1** 上糸を軽くもちます。



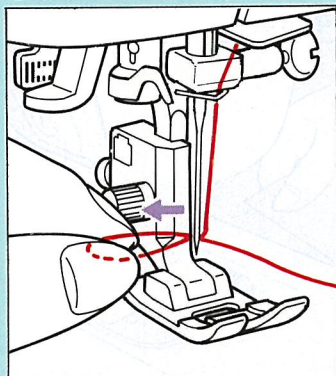
**2** はずみ車を手前にまわします。



**3** 上・下糸をそろえて10センチ以上  
後ろへ出します。



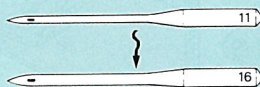
◎糸をひき出します



通した糸を針穴から10センチくらい  
引き出します。

ご注意

1. ミシンが動いているときは糸通し  
レバーをさげないでください。
2. 針自動糸通しは11番、14番、16番  
の針に使用できます。

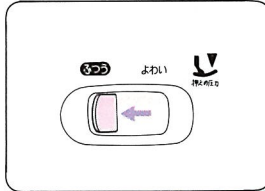




# 布地を入れてぬってみよう!

電源を入れると直線が選ばれます。

押え圧の調節レバー



通常は「ふつう」でぬいます。布地の種類や厚さで調節します。

**6** スピードを調節します。  
はやくなる  
おそくなる



**5** スタートさせます。

**7** ストップさせます。

**3** 上・下糸をそろえて後ろに出します。

**1** 押えを基本押え(A)確かめます。



**2** 布地を入れます。

**4** 押えを下げます。

## 8 自動糸切り

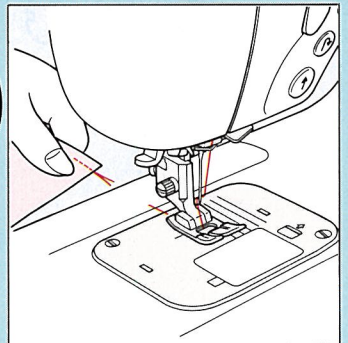
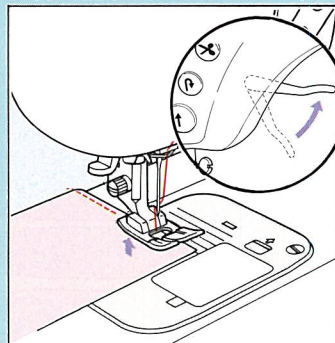
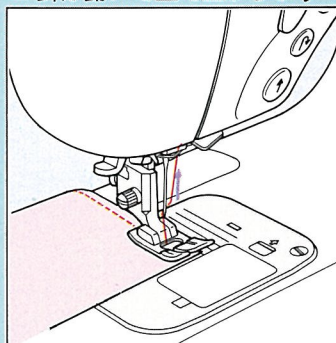
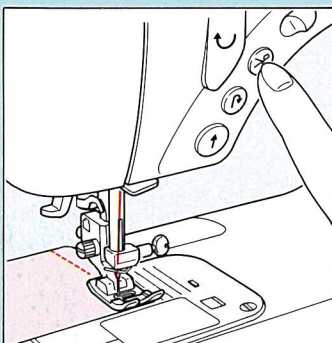
ぬい終わったら・・・

1 糸切りボタンを押します

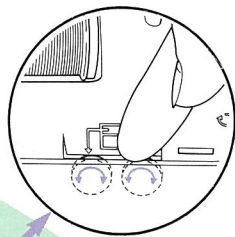
2 針が動いて上で止まります

3 押え上げレバーを上げます

上・下糸が切られて、あとは布地をとり出すだけです。





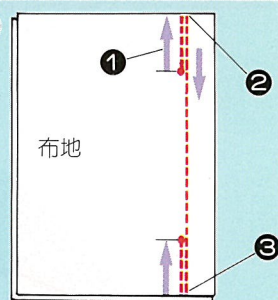


上/下画面の  
明るさを調節します

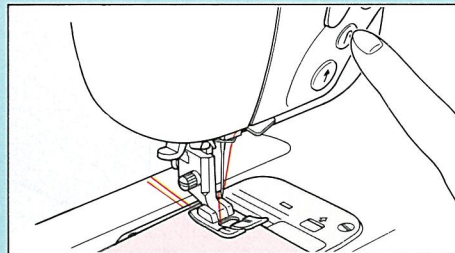
薄くなる  
濃くなる

### ●返しぬい（ほつれ止め）

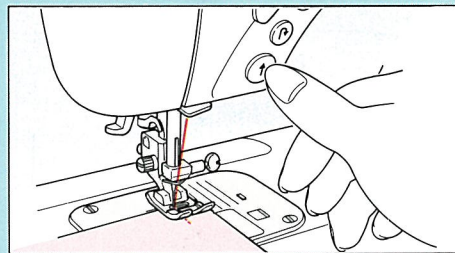
ぬい始めと、ぬい終わりに  
返しぬいをすると  
ぬい目がほつれません。



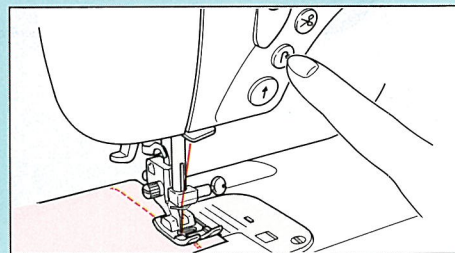
#### ①返しぬいスイッチを押します



#### ②スタート・スイッチを押します



#### ③返しぬいスイッチを押します



- \* 返しぬいスイッチは押している間だけ返しぬいができます。
- \* 返しぬいは、ゆっくりな速度になっています。
- \* ジグザグなどの模様ぬいのはきは、止めぬいになります。

自動糸切りしたあと、  
下糸が見えなくとも  
そのまま次に  
ぬえま〜す！

これは便利！  
糸のムダがないね

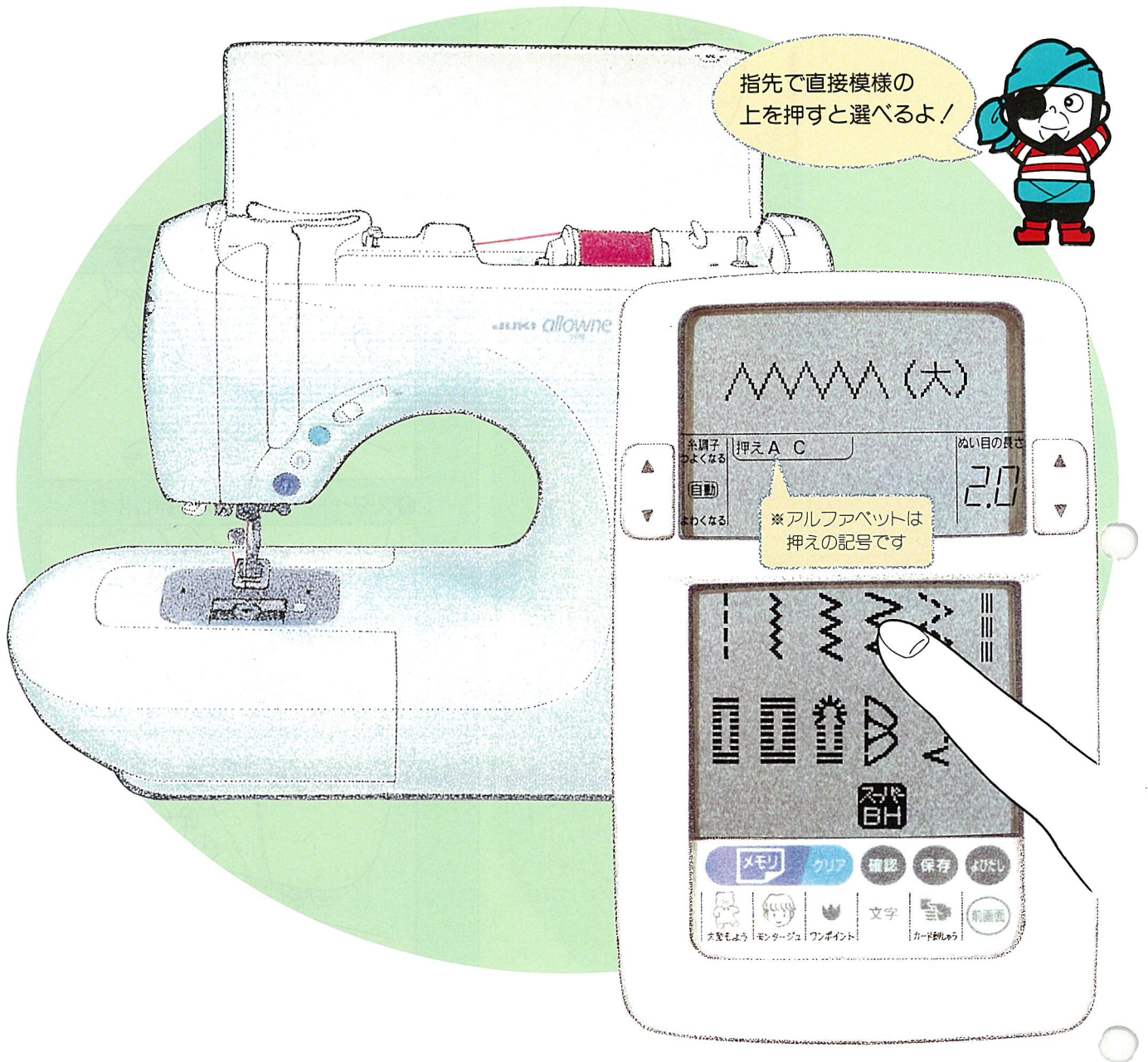


30番以下の太い糸や特殊な糸は押え棒の裏側にある糸切りみぞやハサミを使って糸を切って下さい。（19ページ参照）



# ジグザグなど実用模様を選ぶには…

電源を入れると実用模様群が  
下画面に表示されます。

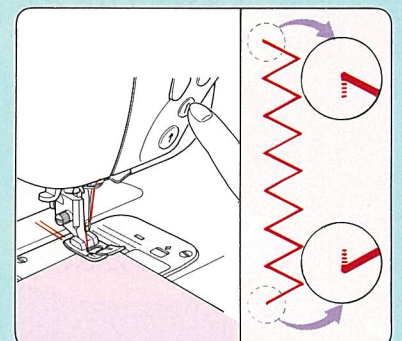


このボタンを押すと  
どんな模様が上画面に  
表示されていても（刺しゅう機がセットされている以外）  
直線ぬいになります。

模様選択 キー				
ぬい 目	振り幅	2	3	5
	自動	1.0	1.5	2.0
	ぬい目の長さ	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0

## ●止めぬい(返しぬい)

ジグザグのぬい始めとぬい終りに止めぬいをするとうぬい目がほつれません。



ぬい始めとぬい終りに返しぬいスイッチを押します。



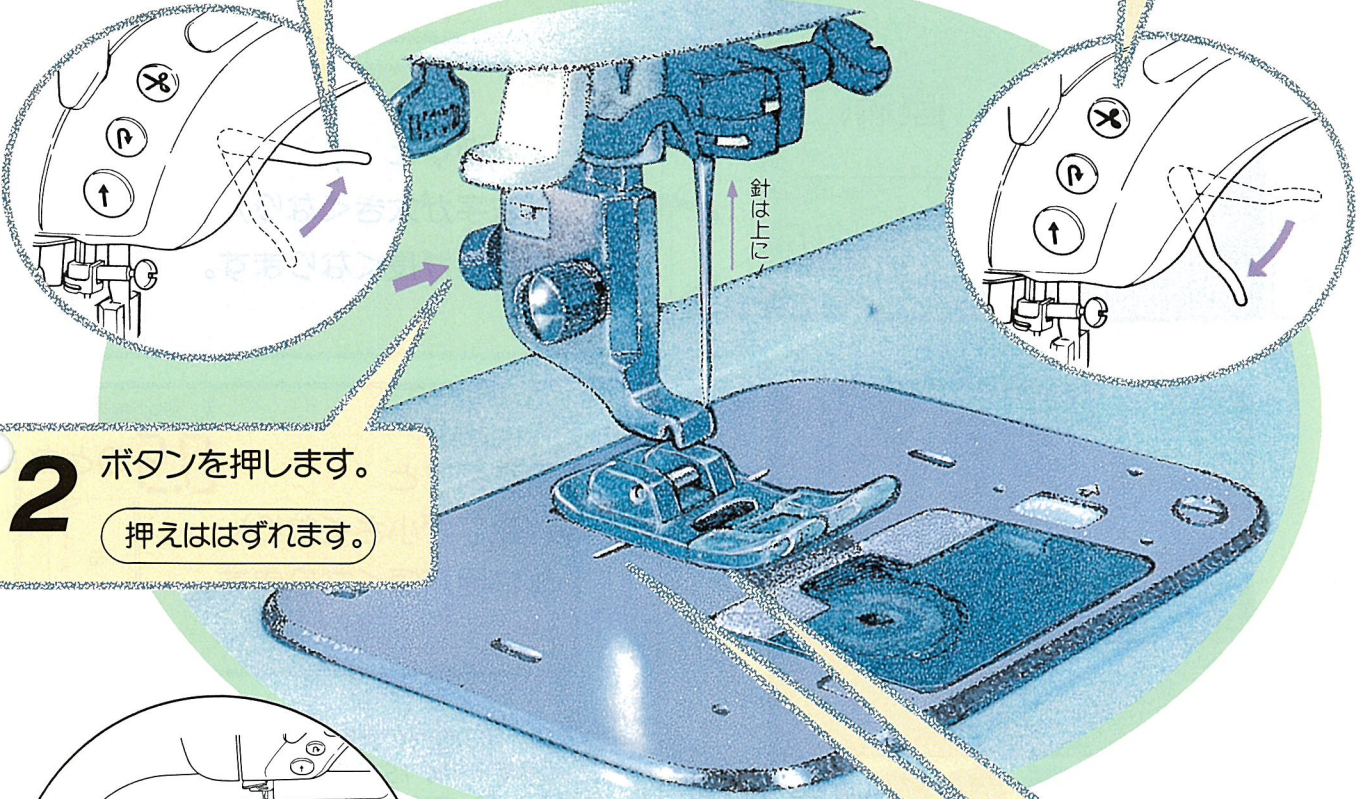
# 押えを交換するには…

模様と用途にあった「押え」を使いましょう！

**注意** 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

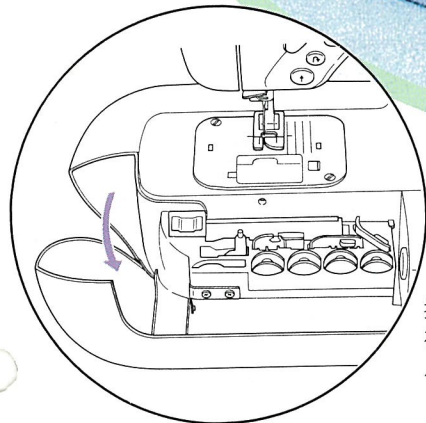
**1** 押え上げレバーをあげます。

**4** 押え上げレバーを下げると押えはセットできます。



**2** ボタンを押します。  
押えははずれます。

**3** 交換する押えのピンと刻線を合わせます。



押えは補助ベッドの中に入っています。

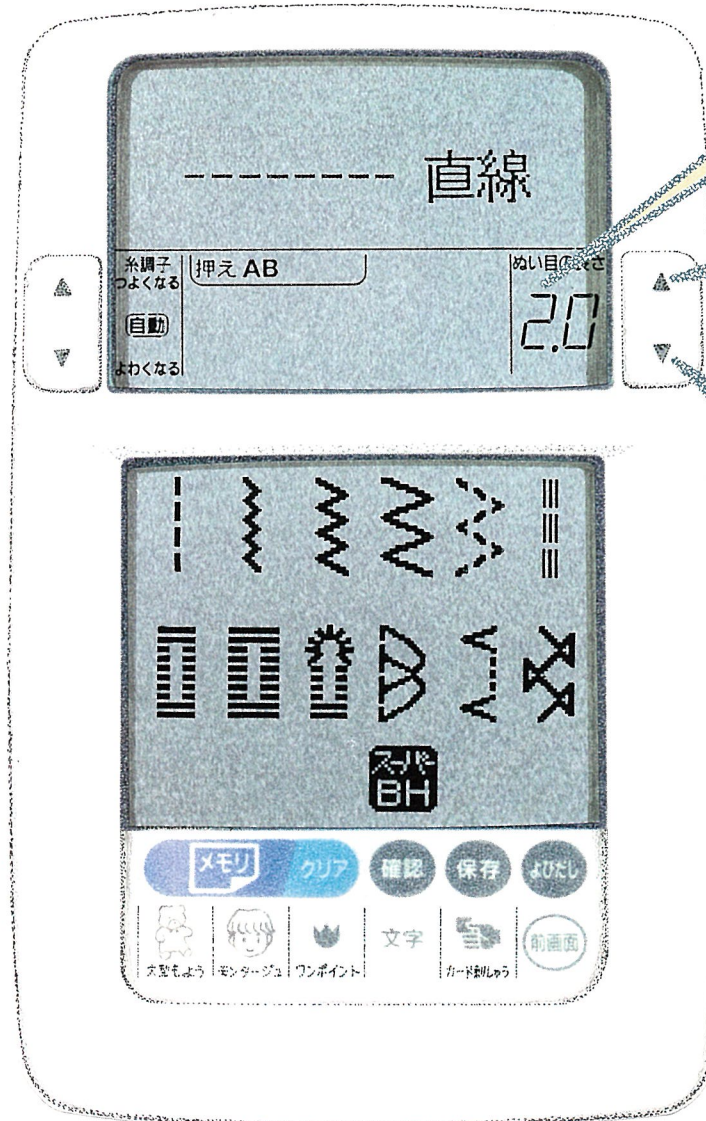
## 押えの種類と主な用途

押え	基本押え				模様押え	ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
記号	A				T	B	C	D	E
模様	—	〰	〰	〰 ワンポイント	・大型もよう ・モンタージュ ・ワンポイント ・文字	—	振り幅(大) 〰	〰	〰
主な用途	直線ぬい	ピンタックなど キルティング	伸縮強化ぬい	アップリケ ジグザクぬい	模様ぬい パッチワークなど	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインド ステッチ (巾着の縫い)	自動ボタン 穴かがり



# ぬい目の長さを手動にするには…

模様を選ぶと自動的に適正なぬい目がセットされていますが……



直線ぬいの例  
ぬい目の長さ  
自動 **2.0** のぬい目

ぬい目の長さ  
**4.0** のとき

上を押すと  
〈数字が大きくなり〉  
ぬい目が長くなります。

ぬい目の長さ  
**0.5** のとき

下を押すと  
〈数字が小さくなり〉  
ぬい目が短くなります。

※ぬい目の長さの表示される数字は  
0.0 0.2~1.0 1.5 2.0 2.3 2.5 3.0  
3.5 4.0 です。

※ -- の表示される模様はボタンを押しても表示は変わりません。

各模様のぬい目の長さの自動と調節できる範囲

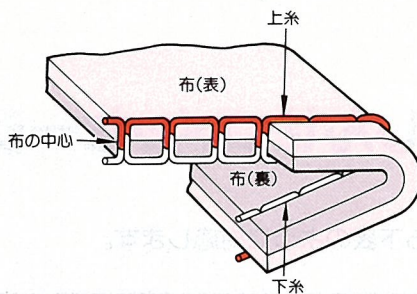
模 様											大型もよう ) ) ) ) ) ワンポイント ) ) ) ) )	
	自動	調節	調節	調節	調節	調節	調節	調節	調節	調節	調節	調節
自動	2.0	1.0	1.5	2.0	両かん 止め 0.5 ハトメ 0.6	2.0	1.0	--	0.4	--	--	
調節	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 1.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	--	0.0 S 4.0	--	--	



# 糸調子を手動にするには…

このミシンはコンピューターにより通常のぬいには最適な自動糸調子になっています。  
特殊なぬいで糸調子を変えるには…

通常のよい糸調子は  
上糸と下糸のからんでいる  
ところが布の中心です。

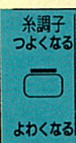


糸調子 つよくなる **押**  
**自動**  
よわくなる

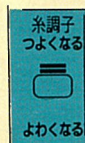
上糸調子を強くしたいとき  
上のボタンを押します

〈4段階に強くなります〉

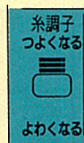
1



2



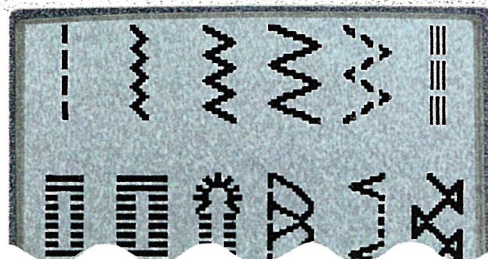
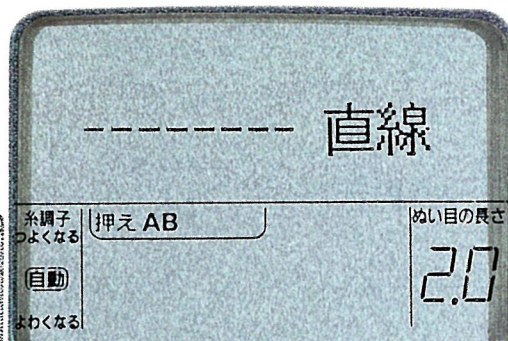
3



4

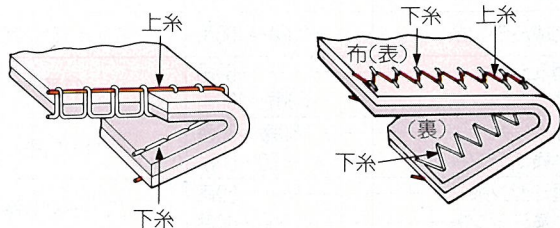


上糸調子を弱くしたいとき  
下のボタンを押します  
〈4段階に弱くなります〉



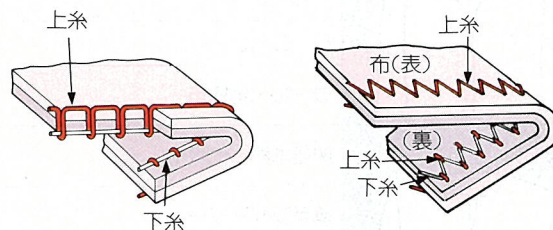
## ●糸調子を強くしたとき…

布の表から見て下糸が見える



## ●糸調子を弱くしたとき…

布の裏から見て上糸が見える



※いせ込み・ギャザー寄せは ぬい目の長さ糸調子の手動を使います。(31ページ参照)


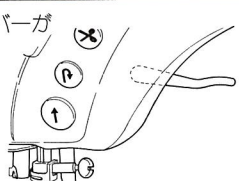
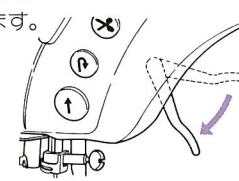


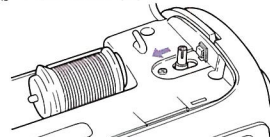

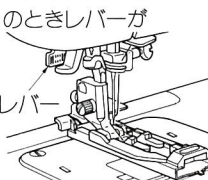
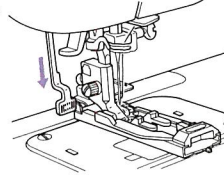


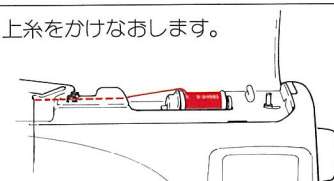


# しんせつメッセージ 布地に合った糸と針の選び方

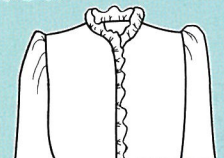
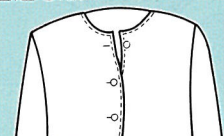

実用ぬいで...

## 誤操作をすると しんせつメッセージがお知らせします

しんせつメッセージが出ましたら下表のように対応します。

上画面表示	原因	処置
 押えレバーが 上がっています	押え上げレバーが 上っている 	下に下げます。 
 下糸巻き中です	糸巻軸が糸巻状態になっている。 	左側へもどします。 
 BHLレバーを 下げてください	ボタン穴かがりのときレバーが セットされていない。 	レバーをさげ ます。 
 上糸を確認してください	上糸がなくなった。 	上糸をかけなおします。 

### ●布地に合った糸と針の選び方

	布 地	ミシン糸	ミシン針
薄地ぬい 	ローン	絹ミシン糸 80番～100番	9番
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸 90番・100番	11番
	トリコット	化繊ミシン糸 60番～100番	ニット針11番
	ウール・化繊布	絹ミシン糸 80番 化繊ミシン糸 60番～100番	11番
普通地ぬい 	普通木綿・化繊布	綿糸 50番～80番 化繊ミシン糸 50・60番	11～14番
	薄手ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50・60番	ニット針11番
	一般ウール・化繊布	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50・60番	11番～14番
厚地ぬい 	デニム	綿糸 30～50番 化繊ミシン糸 30～50番	14番～16番
	ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50・60番	ニット針11番～14番
	コート	絹ミシン糸 50番	11～14番

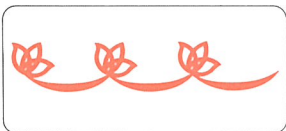
※ニット針（HAX1sp（1KN））は目とびを防ぎ、伸縮性の布地に適します。



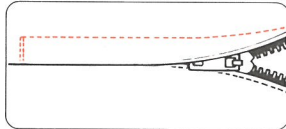
# いろいろなぬい方のガイド

直線ぬいからボタン穴かがり、筒ぬい、  
模様ぬい、アップリケ、ブラインドステッチなど  
いろいろなぬい方ができます。

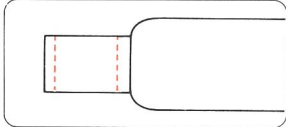
●模様ぬい(38~42ページ)



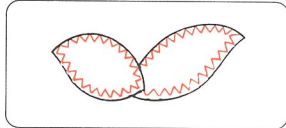
●ファスナーつけ(26~28ページ)



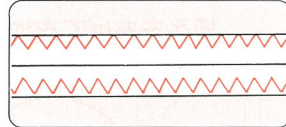
●筒ぬい(フリーアーム)(20ページ)



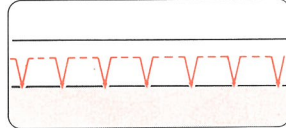
●アップリケ(30ページ)



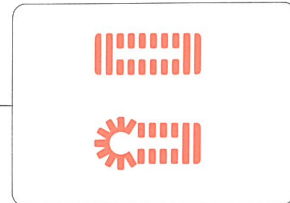
●裁ち目がかり(21ページ)



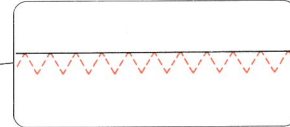
●ブラインドステッチ(29ページ)



●ボタン穴かがり(22~24ページ)



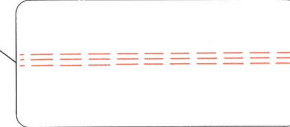
●三点ジグザグぬい(28ページ)



●文字ぬい(43ページ)



●伸縮強化ぬい(25ページ)



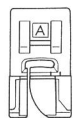


# 直線ぬい

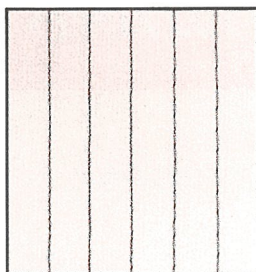
使う模様

----- 直線

使う押え



基本押え (A)



直線ぬいはぬいの基本です。  
布地に適した針と糸を選びましょう。

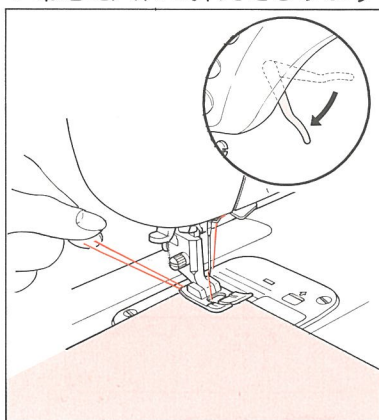
**注意** 押えの交換のときは  
電源スイッチを切ってください。

電源を入れると自動的に直線が選ばれます。

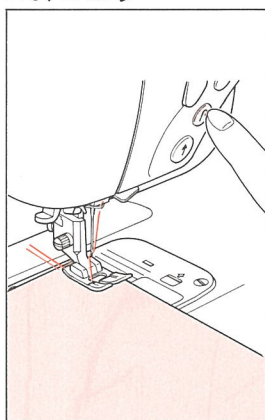


針の落ちる位置

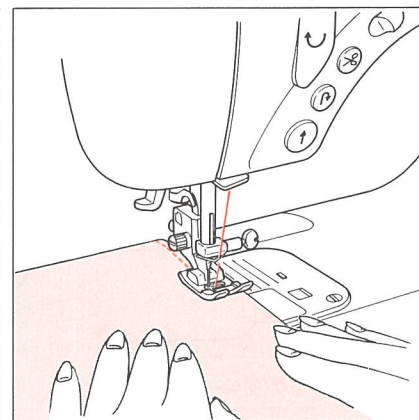
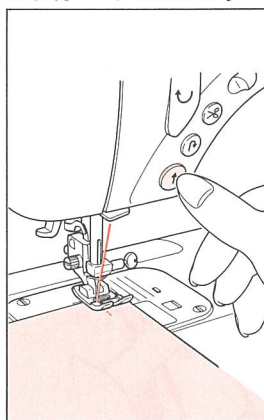
- 返しぬいの分だけ後ろへ  
1 布地を入れて押えをさげます 2 返しぬいスイッチを  
押します 3 スタートさせます 4 布地に軽く手をそえます



布地を押えの下におき、ぬい始める位置  
に針をおとします。  
上・下糸をそろえて押えをさげます。



押している間だけ返しぬいを  
します。

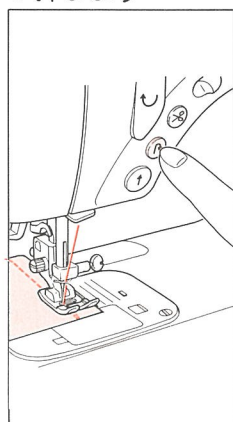


ぬっている間は布地をむりに引っばらない  
ようにします。

- 5 ぬい速度を調節します 6 返しぬいスイッチを  
押します 7 糸を切ります 8 押えをあげて布地を  
とり出します

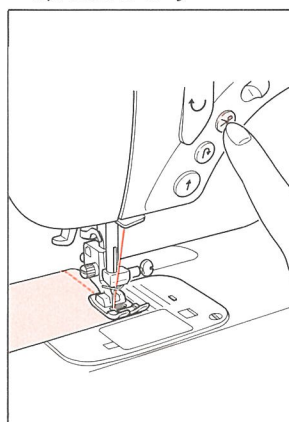


上にあげるとはやくなります。  
下にさげるとおそくなります。

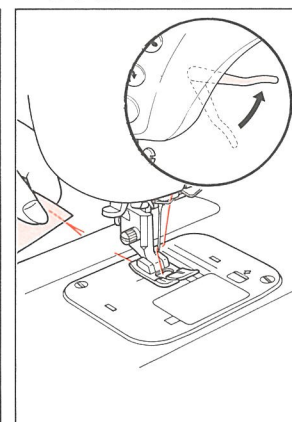


指をはなすとストップし  
ます。

返しぬいをしな  
い場合はスタート・ストップス  
イッチを再度押し  
てストップさせ  
ます。



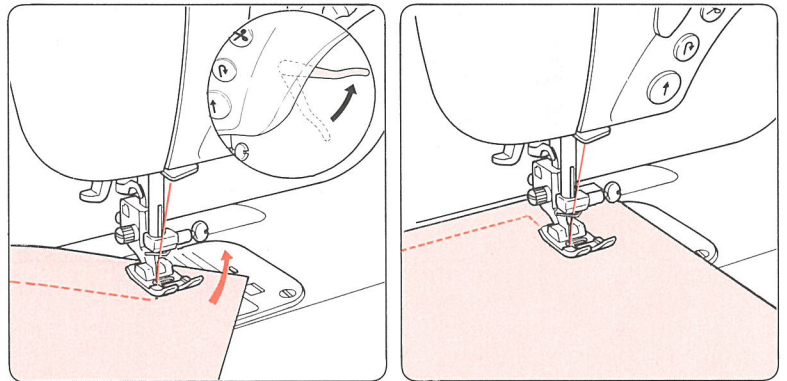
糸切りスイッチを押します。



針が完全に止まってから、  
押え上げレバーを上へあげます。  
上・下糸が同時に切れて、  
布地がとり出せます。

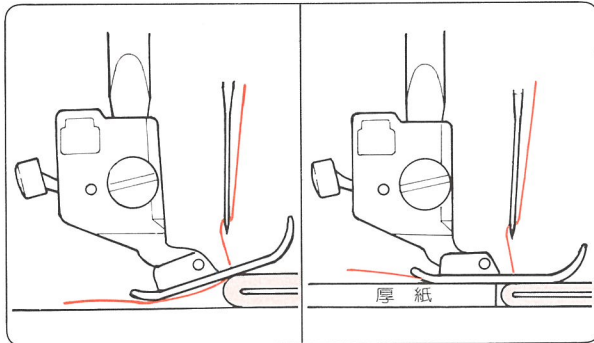


●ぬい方向を変えるとき



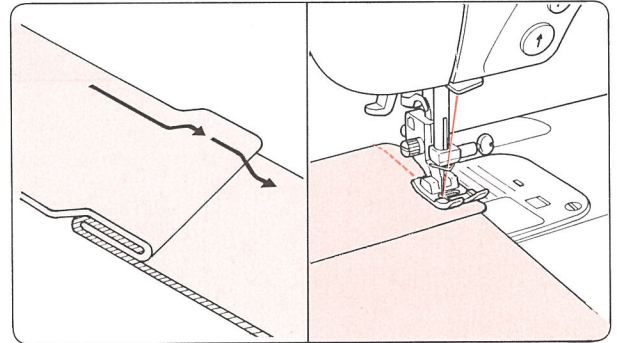
所定の位置でストップさせて押えをあげ、押えをさげてぬい始めます。  
針を軸にして布地を回し、ぬい方向に正しくセットします。

●厚地のぬい始め



ぬいしろが重なった布端よりぬう場合は、布端と同じ厚さの厚紙や布を押えの下におりこみますとスムーズにぬうことができます。

●ぬいしろの重なっている部分のぬい方

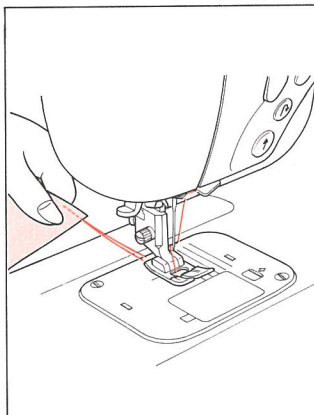


ぬいしろの重なりや、極端に厚手で少しずつ布の送りを助けなみに差ができていところは ながらぬっていきます。  
ぬいしろを倒した方向にぬいます。

※薄地のぬい始めは上・下糸を進む方向に軽くひっぱりながら ゆっくりとぬいます。

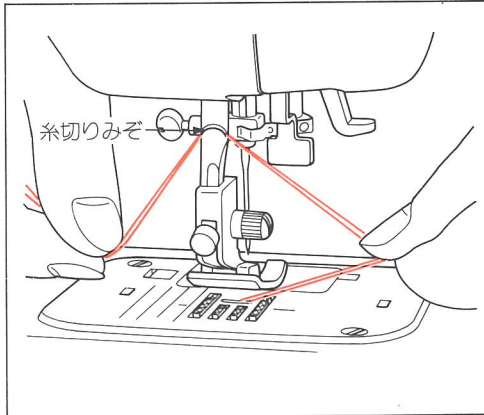
糸切りみぞの使い方

1 布地をとり出します



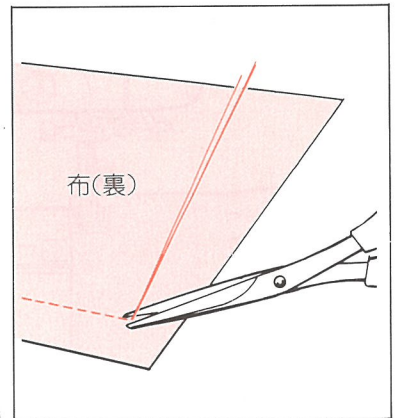
ぬい終わったら、針をあげてから押えをあげて布地を静かに後ろへ引き出します。

2 糸切りみぞで糸を切ります



上糸と下糸をそろえて10センチくらい引き出し、押えの裏側の糸切りみぞで糸を切ります。

3 布地の裏で糸を結びます



布地の裏側に上糸を引き出し、上糸と下糸を結び、結び目のきわで糸を切ります。